

# 大型車の 車輪脱落事故をゼロへ



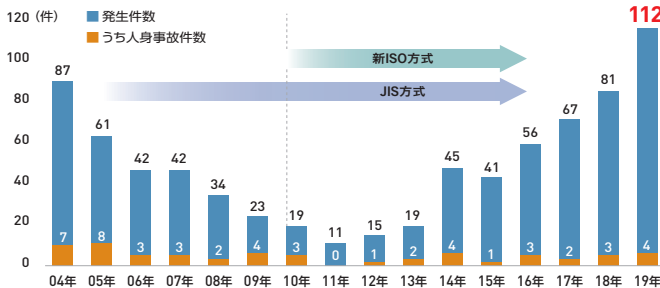
大型トラック・大型バスの車輪脱落事故が年々増加傾向にあります。  
本格的な冬が来る前に、安全・安心の為に事故防止を図りましょう！



## 車両整備ご担当者様へ

### 車輪脱落事故件数推移 年度別の大型車のホイール・ボルト折損等による車輪脱落事故<sup>\*</sup>の発生件数

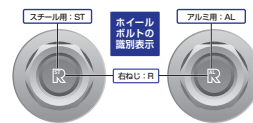
2019年時点で年間112台の車輪脱落事故が発生しており、年々増加傾向です。  
2010年以降は車両総重量がおおよそ12トン以上の大型車のホイール規格が、  
国際規格である「新・ISO方式」に切り替わっています。



新ISO方式はJIS方式とナットの締め方が異なるため、注意が必要です。  
新ISO方式のナットは、左車輪も右ねじ方向に締まります。  
ホイールボルトに表示されているねじの方向を必ず確認してください。

#### ■ねじの方向、ホイールボルトの識別

ホイールボルトには、スチール用、アルミ用の識別表示があります。  
ホイール交換や日常点検の際には、  
適用するホイール、ホイールボルトであることを確認してください。



<sup>\*</sup>車両総重量8トン以上の自動車又は乗車定員30人以上の自動車であって、車輪を取り付けるホイール・ボルトの折損またはホイール・ナットの脱落により車輪が自動車から脱落した事故

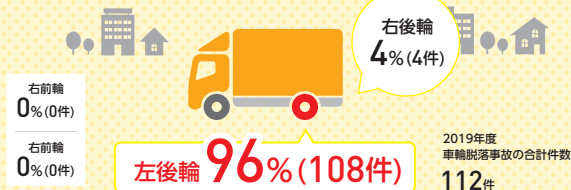
新ISO方式の詳細説明はこちら



日本自動車タイヤ協会 <http://www.yokosya.jp/pdf/txt/wheelisojis.pdf>

### 車輪脱落事故の発生位置

左後輪96% (108件)と、かなり高いです。ナット締めが緩んでいた場合、最も力加わりやすく、最も外れやすいからです。



### 車輪脱落事故月別発生件数

冬に車輪脱落が多いのは、繁忙期による注意散漫のためです。



### 車輪脱落事故への安全啓発

#### お きまりのトルクで きちんと締め付けて

- トルクセッター/トルクレンチを使って本締め規定トルクで締め付けてください。
- 作業対象への“マグネット”利用などで閉め忘れを防止することができます。
- ハブ周り/ボルト、ナット/ホイールの正しいセットで緩みを防止しましょう。

#### ち ゃんと増し締め交換後

締め付け後の初期なじみによるホイールナットの締め付け力が低下した場合は50～100km走行後を目安に、増し締めを実施してください。

#### な ット見て、ボルト触って さあ出発！

運行前にホイールボルト、ナットを目で見て触って点検してください。異常を発見したらすぐ整備工場で点検してください。

#### い や待てよ？ ボルトとナットは 適正か？

規定のトルクで確実に締め付けを締め付け方式には、球面座で締付けるJIS方式、平面座で締付けるISO方式があります。規定のトルクで確実に締め付けてください。

ホイール履き替え時の注意が大切

ISOボルトの識別表示



識別表示

ねじの方向	右ねじ	R
	左ねじ	L
ホイールの種類	スチール用	ST
	アルミ用	AL
	共用	S・A



詳しくはこちらのQRコードをご確認ください  
全日本トラック協会  
<https://jta.or.jp/member/anzen/ochina12017.html>

出典：19年国土交通省/自動車事故報告規則に基づく報告及び自動車メーカーからの報告

## ドライバー様へ

### 運行前点検の実施の啓発

安全・安心に運行いただくために、  
運行前に必ず点検しよう！

日常点検は、1日1回必ず実施してください



点検ハンマーによるナット緩み点検



点検ハンマーによる空気圧点検



タイヤ/ホイール外観チェック



運行前点検シートもご用意していますので、ぜひご利用してください。

点検方法の詳細はこちら

ダンロップ  
トラック・バス用タイヤサイト  
<https://truckbus.dunlop.co.jp/support/driver/check.html>



皆さまぜひ、ご覧ください！

商用タイヤの情報が盛りだくさん!!



ダンロップの“働く車のWEBサイト”がリニューアル!

